

## 基本計画書

基本計画書									
事項	記入欄							備考	
計画の区分	研究科の専攻に係る課程の変更								
フリガナ設置者	ガッコウホクシン ハナガクイン 学校法人 濱名学院								
フリガナ大学の名称	カンサイコクアイダクガクダクイン 関西国際大学大学院 (Graduate School of Kansai University of International Studies)								
大学本部の位置	兵庫県三木市志染町青山1丁目18番								
大学院の目的	教育基本法及び学校教育法に基づき、グローバルな視野に立った研究能力、専門的知識・技術を修得し、専門職業人として活躍できる人材を育成することを目的とする。								
新設学部等の目的	深い人間理解に基づき、新たな知見を国内外に発信し、看護学の知識体系の発展や看護実践の改善・開発に寄与できる自立した教育研究者を育成することを目的とする。								
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地	【基礎となる学部】 保健医療学部 看護学科  看護学研究科 看護学専攻 (修士課程)  14条特例の実施
	看護学研究科 【Graduate School of Nursing Science】 看護学専攻博士課程 【Doctoral Program in Nursing Science】  計	年	人	年次人	人	博士 (看護学)  【Doctor of Science in Nursing】	年月 第 年次	兵庫県三木市志染町青山1丁目18番	
同一設置者内における変更状況 (定員の移行, 名称の変更等)		保健医療学部看護学科〔定員増〕 (20) (平成31年3月認可申請予定) 現代社会学部 (設置者変更) (200) (平成31年5月認可申請予定) 現代社会学部〔定員増〕 (200) (平成31年6月認可申請予定)							
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数			
	看護学研究科 看護学専攻博士課程	講義	演習	実験・実習	計	14 単位			
教員組織の概要	学部等の名称		専任教員等					兼任教員等	
			教授	准教授	講師	助教	計		助手
	新設	看護学研究科看護学専攻博士課程	11人 (11)	1人 (1)	0人 (0)	0人 (0)	12人 (12)	0人 (0)	3人 (3)
		計	11人 (11)	1人 (1)	0人 (0)	0人 (0)	12人 (12)	0人 (0)	3人 (3)
	既設	人間行動学研究科人間行動学専攻	7 (7)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	9人 (9)	0人 (0)	9 (9)
		人間行動学研究科臨床教育学専攻	5 (5)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	7人 (7)	0人 (0)	4 (4)
看護学研究科看護学専攻修士課程		7 (7)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	11 (11)	0人 (0)	33 (33)	
分	計	19 (19)	8 (8)	0 (0)	0 (0)	27 (27)	0人 (0)	46 (46)	
合計		30 (30)	9 (9)	0 (0)	0 (0)	39 (39)	0 (0)	49 (49)	

教員以外の職員の概要	職 種		専 任	兼 任	計		大学全体			
	事 務 職 員		75 人 (75)	41 人 (41)	116 人 (116)					
	技 術 職 員		0 (0)	0 (0)	0 人 (0)					
	図 書 館 専 門 職 員		2 (2)	0 (0)	2 人 (2)					
	そ の 他 の 職 員		0 (0)	0 (0)	0 人 (0)					
計		77 (77)	41 (41)	118 人 (118)						
校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計		大学全体			
	校 舎 敷 地	33,082㎡	-	-	33,082㎡					
	運 動 場 用 地	42,267㎡	-	-	42,267㎡					
	小 計	75,349㎡	-	-	75,349㎡					
	そ の 他	7,413㎡	-	-	7,413㎡					
合 計		82,762㎡	-	-	82,762㎡					
校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計		大学全体			
		26,732㎡ (26,732㎡)	0 ㎡ ( 0 ㎡)	0 ㎡ ( 0 ㎡)	26,732㎡ (26,732㎡)					
教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		大学全体			
	21室	50室	11室	2室 (補助職員3人)	1室 (補助職員1人)					
専 任 教 員 研 究 室		新設学部等の名称		室 数		大学全体				
		看護学研究科看護学専攻博士課程		14 室						
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	保健医療学部との共用含む		
	看護学研究科 看護学専攻博士課程	19,000〔550〕 (18,025〔542〕)	100〔17〕 (89〔17〕)	4,310〔2,000〕 (4,310〔1,895〕)	600 (576)	6,520 (5,734)	51 ( 51 )			
	計	19,000〔550〕 (18,025〔542〕)	100〔17〕 (89〔17〕)	4,310〔2,000〕 (4,310〔1,895〕)	600 (576)	6,520 (5,734)	51 ( 51 )			
図 書 館		面 積		閲覧座席数	収 納 可 能 冊 数		大学全体			
		2048.00㎡		291	214,830冊					
体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要			大学全体			
		1,404.40 ㎡		テニスコート5面 該当なし						
経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経 費 の 見 積 り	区 分	開設前年度	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次	研究科単位での算出不能なため、学部との合計
		教員 1 人 当 り 研 究 費 等		250千円	250千円	-	-	-	-	
		共 同 研 究 費 等		9,950千円	9,950千円	-	-	-	-	
		図 書 購 入 費	9,550千円	9,550千円	9,550千円	-	-	-	-	
	設 備 購 入 費	1,000千円	1,000千円	1,000千円	-	-	-	-		
	学 生 1 人 当 り 納 付 金	研究科	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次	図書購入費には電子ジャーナルの整備費(運用コスト)を含む	
人間行動学		9,20千円	720千円	-	-	-	-			
看護学		1,100千円	900千円	900千円	-	-	-			
学生納付金以外の維持方法の概要			手数料収入、法人内資産移動などを運営費に充当する。							

大学等の名称	関西国際大学								所在地	
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地		
既設大学等の状況	人間科学部	年	人	年次人	人		1.12			兵庫県三木市志染町青山1-18
	経営学科	4	-	-	-	学士(経営学)	-	平成23年度		
	人間心理学科	4	125	-	500	学士(行動科学)	1.00	平成19年度		
	経営学部			3年次			1.14			
	経営学科	4	100	20	440	学士(経営学)	1.14	平成31年度		
	保健医療学部						1.14			
	看護学科	4	80	-	320	学士(看護学)	1.14	平成25年度		
	教育学部						1.08			
	教育福祉学科	4	150	-	600	学士(教育福祉学)	1.08	平成19年度	兵庫県尼崎市潮江1丁目3番23号	
	英語コミュニケーション学科	4	-	-	-	学士(英語学)	-	平成19年度		
国際コミュニケーション学部						1.14				
英語コミュニケーション学科	4	50	-	200	学士(英語学)	1.14	平成31年度			
大学等の名称	関西国際大学大学院									
学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地		
人間行動学研究科			年次人	人		0.81				
人間行動学専攻	2	8	-	16	修士(人間行動学)	0.44	平成18年度	兵庫県三木市志染町青山1-18		
臨床教育学専攻	2	8	-	16	修士(教育学)	1.19	平成26年度	兵庫県尼崎市潮江1丁目3番23号		
看護学研究科						0.67				
看護学専攻	2	6	-	12	修士(看護学)	0.67	平成27年度	兵庫県三木市志染町青山1-18		
附属施設の概要	なし									

## 教 育 課 程 等 の 概 要

（看護学研究科 看護学専攻 博士後期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通科目	看護学研究方法論	1春	2			2			2						兼1	オムニバス
	心理学研究方法応用論 （看護学的研究）	1秋		2		2			2							オムニバス
	看護学教育論	1夏	2			2									兼2	オムニバス 集中
	看護学教育演習	1秋		2				2	6							
	小計（4科目）	—	4	4	0			—	8	0	0	0	0		兼3	
専門科目	療養支援看護学特論	1春		2		2			1							
	小計（1科目）	—		2	0			—	1	0	0	0	0			
	家族支援看護学特論	1春		2		2			3							オムニバス
	小計（1科目）	—		2	0			—	3	0	0	0	0			
	生活支援看護学特論	1春		2		2			2							オムニバス
小計（1科目）	—		2	0			—	2	0	0	0	0				
特別研究	特別研究Ⅰ	1夏～2春	4					4	11	1						
	特別研究Ⅱ	2夏～3冬	4					4	11	1						
	小計（2科目）	—	8	0	0			—	11	1	0	0	0			
合計（9科目）		—	12	10	0			—	11	1	0	0	0			
学位又は称号		博士（看護学）		学位又は学科の分野				保健衛生学関係（看護学関係）								
卒業要件及び履修方法								授業期間等								
必修科目として、共通科目より4単位、特別研究より8単位、選択必修科目として専門科目より2単位の合計14単位を修得し、修了要件を満たすこと。								1学年の学期区分			4期					
								1学期の授業期間			春学期（15週） 夏学期（8週） 秋学期（15週） 冬学期（8週）					
								1時限の授業時間			90分					

教 育 課 程 等 の 概 要

看護学研究科看護学専攻(修士課程)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通科目	看護研究方法論	1春	2			○			3						兼1	オムニバス
	看護理論	1春		2		○									兼2	オムニバス
	看護倫理	1春		2		○			1						兼3	オムニバス
	看護マネジメント論	1秋		2		○				1					兼4	オムニバス
	看護教育論	1秋		2		○			1	2						オムニバス
	コンサルテーション論	1秋		2		○			1	1					兼3	オムニバス
	保健・医療・福祉政策特論	1秋		2		○			1						兼1	オムニバス
	フィジカルアセスメントⅠ	1秋		2			○		3	1					兼1	オムニバス
	フィジカルアセスメントⅡ	1冬		2			○		3	1					兼1	オムニバス 集中
	病態生理学Ⅰ	1春		2		○					1				兼3	オムニバス
	病態生理学Ⅱ	1冬		2		○									兼2	オムニバス 集中
	臨床薬理学	1春		2		○				1					兼6	オムニバス
	統計学	1夏		2		○									兼1	集中
小計(13科目)		—	2	24	0	—			7	5	1	0	0			
専門科目	基礎看護学	基礎看護学特論	1春		2		○			1						
		基礎看護学演習	1～2		8			○		1	1					
	療養支援看護学	急性看護学特論	1春		2		○			1						
		急性看護学援助特論Ⅰ	1春		2		○			1						
		急性看護学援助特論Ⅱ	1秋		2		○			1						
		急性看護学演習	1～2		8			○		1	1					
		急性看護学演習Ⅰ	1夏		2			○		1						集中
		急性看護学演習Ⅱ	1冬		2			○		1						集中
		急性看護学実習Ⅰ	1夏		2				○	1						集中
		急性看護学実習Ⅱ	1冬		2				○	1						集中
		急性看護学実習Ⅲ	2春夏		6				○	1						
		慢性看護学特論	1春		2		○			1						
		慢性看護学演習	1～2		8			○		1	1					
		がん看護学特論	1春		2		○			1						
		がん看護学演習	1～2		8			○		1						
家族支援看護学	小児看護学特論	1春		2		○			1							
	小児看護学演習	1～2		8			○		1		1					
	母性看護学特論	1春		2		○			1							
	助産看護学特論	1春		2		○			1							
	母性・助産看護学演習	1～2		8			○		1	1						

## 教 育 課 程 等 の 概 要

看護学研究科看護学専攻(修士課程)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
生活支援看護学	老年看護学特論	1春		2		○			1						
	老年看護学演習	1～2		8			○		1		1				
	在宅看護学特論	1春		2		○				1					
	在宅看護学演習	1～2		8			○			1					
	公衆衛生看護学特論	1春		2		○			1						
	公衆衛生看護学演習	1～2		8			○		1		1				
	小計(26科目)	—	0	110	0		—		2	2	3	0	0		
	課題研究	1～2		2			○		9	6					
特別研究	1～2		8			○		9	6						
小計(2科目)	—	0	10	0		—		9	6	0	0	0			
合計(41科目)		—	2	144	0		—		9	6	4	0	0		
学位又は称号	修士(看護学)		学位又は学科の分野			保健衛生学関係(看護学関係)									
卒業要件及び履修方法							授業期間等								
共通科目8単位以上、各看護学特論から4単位、各看護学演習から8単位、特別研究8単位もしくは課題研究2単位を含め、30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文もしくは課題研究の審査及び最終試験に合格すること。							1学年の学期区分		4期(夏・冬集中)						
							1学期の授業期間		春学期(15週) 夏学期(8週) 秋学期(15週) 冬学期(8週)						
							1時限の授業時間		90分						

教育課程等の概要

(保健医療学部看護学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置				備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教		助手		
基盤教育科目	KUISベ リック 教育 初年次	評価と実践Ⅰ	1~2年	1				○	1	4	3	2		兼1		
		評価と実践Ⅱ	2~4年	1				○	1	4	3	2				
		リーダーシップ演習	1年冬		1			○								
		初年次セミナー	1年春	1				○		1	1					
		学習技術	1年秋	1				○		1	1					
		リサーチ入門	1年春		1			○							兼1	
	コ モ ン ベ ー シ ツ ク ス	第1外国語	基礎英語	1年春	2				○						兼3	
			総合英語Ⅰ	1年秋	2				○						兼3	
			総合英語Ⅱ	2年春	2				○						兼3	
			オーラルイングリッシュⅠ	1年秋		1			○						兼1	
			オーラルイングリッシュⅡ	2年春秋		1			○						兼1	
			オーラルイングリッシュⅢ	2年春秋		1			○						兼1	
			インテンシブイングリッシュⅠ	1年夏		1			○						兼1	
			インテンシブイングリッシュⅡ	1年冬		1			○						兼1	
		外国語 (第2外国語 その他) の語	中国語Ⅰ	1年春		2				○						兼1
			中国語Ⅱ	1年秋		2				○						兼1
			韓国・朝鮮語Ⅰ	1年春		2				○						兼1
			韓国・朝鮮語Ⅱ	1年秋		2				○						兼1
		情報	ITリテラシー	1年春		2				○						兼2
			ICT活用A	1年春秋		2				○						兼1
ICT活用B	2年秋			2				○						兼1		
ICT活用C	2年夏冬			2				○						兼1		
健康と スポーツ	生涯スポーツⅠ	1年春		1				○						兼1		
	生涯スポーツⅡ	1年秋		1				○						兼1		
小計(24科目)				10	25	0		—	1	4	3	2	0	兼27		
リ バ ラ ル ア ー ツ	人間の 理解	人間学Ⅰ	1年春	2				○						兼3		
		人間学Ⅱ	1年秋	2				○						兼3		
		倫理と社会生活(倫理学)	1年秋		2				○					兼1		
		教育と人間形成(教育学)	1年秋		2				○					兼1		
		比較宗教論(宗教学)	1年春		2				○					兼1		
		人権と法	1年秋		2				○					兼1		
	社会と 生活	近現代の歴史(歴史学)	1年春		2				○						兼1	
		社会階層と文化(社会学)	1年秋		2				○						兼1	
		国際社会と政治(政治学)	1年秋		2				○						兼1	
		日本国憲法	1年春		2				○						兼1	
	科学と 生活	環境と生活(環境学)	1年秋		2				○						兼1	
		生命と倫理(倫理学)	1年秋		2				○						兼1	
		情報と社会(情報学)	1年春		2				○						兼1	
		食と健康(栄養学)	1年春		2				○						兼1	
小計(14科目)				4	24	0		—	0	0	0	0	0	兼18		
グ ロ ー バ ル ス タ デ ィ ス タ	グローバルスタディⅠ	3年冬		1				○	1					兼1		
	グローバルスタディⅡ	3年夏		2				○						兼1		
	グローバルスタディⅢ	3年夏		3				○						兼1		
	地域研究(北米圏)	1年春		2				○						兼1		
	地域研究(アジア圏)	1年秋		2				○						兼1		
	日本文化論(日本文化)	1年春		2				○						兼1		
デ ィ ス タ ニ コ ミ ニ テ ィ ユ	ボランティア論(地域社会)	1年秋		2				○						兼1		
	災害と安全(危機管理)	1年冬		2				○						兼1		
	地域防災減災論	1年冬		2				○						兼1		
小計(9科目)				0	18	0		—	1	0	0	0	0	兼8		
計(47科目)				14	67	0		—	2	4	3	2	0	兼52		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門基礎科目	人間と健康	形態機能学Ⅰ(運動器・神経系)	1年春	2			○									兼1
		形態機能学Ⅱ(循環器・内臓系)	1年春	2			○									兼1
		生化学	1年春	1			○									兼1
		薬理学	1年春	1			○									兼1
		臨床栄養学	1年秋	1			○									兼1
		免疫学	1年春	1			○									兼1
		病態学	1年秋	1			○									兼1
		疾病・治療論Ⅰ(内科系)	1年秋	1			○									兼1
		疾病・治療論Ⅱ(外科系)	1年秋	1			○									兼1
		疾病・治療論Ⅲ(精神/老年)	1年秋	1			○									兼2
		疾病・治療論Ⅳ(母性/小児)	1年秋	1			○									兼2
		多専門職連携医療論	3年春	1			○									兼1
		遺伝学	1年秋		1		○									兼1
		生物学基礎	1年春		1		○									兼1
	化学基礎	1年春		1		○									兼1	
	心理学基礎	1年春		1		○									兼1	
	人間と環境	家族社会学	2年春		1		○									兼1
		環境保健学	1年秋	1			○									兼1
		疫学	1年秋	2			○									兼1
		保健統計学	1年秋	2			○									兼1
		保健医療福祉行政論	3年春		2		○									兼1
小計(21科目)			19	7	0	—			0	0	0	0	0		兼23	
専門教育科目	基盤看護学	基礎看護学概論	1年春	2			○			1						
		基礎看護学方法論	1年秋	2						1		1	2			
		基礎看護技術Ⅰ(生活援助)	1年秋	1			○			1		1	2			
		基礎看護技術Ⅱ(治療援助)	1年秋	1			○			1		1	2			
		基礎看護技術Ⅲ(看護過程)	2年春	1			○			1		1	2			
		セイフティマネジメント	3年秋	1			○									兼1
		看護マネジメント	3年秋	1			○									兼1
		基礎看護学実習Ⅰ(早期体験実習)	1年夏	1					○	1		1	2			
		基礎看護学実習Ⅱ(看護援助過程)	2年秋	2					○	1		1	2			
	療養支援看護学	成人健康看護学概論	2年春	2			○			2						
		急性・重症看護援助論	2年春	2				○		1	1		1			
		慢性看護援助論	2年春	2				○		1	1	1				
		がん看護援助論(含む終末期)	2年秋	1				○		1						
		急性・慢性看護技術演習	2年秋	1				○		2	2					
		急性看護学実習	3年通	3					○	1	1		1			
		慢性看護学実習	3年通	3					○	1	1	1				
		精神健康看護学概論	2年春	2			○				1					
		精神看護援助論	2年秋	2				○			1	1	1			
	精神看護学実習	3年通	2					○		1	1	1				
	家族支援看護学	小児健康看護学概論	2年春	2			○			1						
		小児看護援助論	2年秋	2				○		1		2				
小児看護学実習		3年通	2					○	1		2	1				
母性健康看護学概論		2年春	2			○			1							
母性看護援助論		2年秋	2				○		2	1						
母性看護学実習		3年通	2					○	2	1						
基礎助産学		2年秋		2		○			1							
助産診断技術学Ⅰ		3年冬		2			○		1		1					
助産診断技術学Ⅱ		4年春		4			○		1		1					
助産管理	3年秋		1			○		1		1						
助産学実習	4年通		7					1		1						



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置				備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教		助手		
生活支援看護学	老年健康看護学概論	2年春	2			○			1							
	老年看護援助論	2年秋	2				○		1	1	1					
	老年看護学実習	3年通	3					○	1	1	1					
	在宅看護学概論	2年春	2			○				1		1				
	在宅看護援助論	2年秋	2				○			1			1			
	在宅看護学実習	3年通	1					○		1			1			
	公衆衛生看護学概論	2年春	2			○			2		1					
	個人・家族・集団・組織の支援活動論	3年冬		2		○			2		1					
	公衆衛生看護活動展開演習	4年春		3			○		2		1					
	公衆衛生看護管理論	4年春		2			○		2		1					
公衆衛生看護学実習	4年通		4				○	2		1						
専門教育科目	総合看護	代替療法看護論	4年春		1		○								兼1	
		災害看護論	4年春		1		○								兼1	
		国際看護論	2年秋	1			○			1						
		看護研究方法	4年春	2			○			1						
		実践看護学特演	4年通		3			○								
		統合看護実習	4年春	4					○	10	6	8	6			
		卒業研究	4年通	4					○	10	6	8	6			
		小計(49科目)		69	32	0		—		10	6	8	6	0		兼5
計(70科目)		88	39	0		—		10	6	8	6	0		兼28		
合計(117科目)			102	106	0		—		10	6	8	6	0			
学位または称号		学士(看護学)	学位又は学科の分野			保健衛生学関係										
卒業要件及び履修方法						授業期間等										
<p>卒業要件としては、共通教育科目と専門教育科目を合わせて126単位の取得を必要としている。その履修方法とそれに伴う要件単位は、以下の通りである。</p> <p>【基盤教育科目】 「初年次教育」科目区分の4科目(評価実践Ⅰ、評価と実践Ⅱ、初年次セミナー、学習技術(各1単位))は、必須科目として履修する。「第1外国語」の科目区分からは、基礎英語、総合英語Ⅰ、総合英語Ⅱ(各2単位)を必須科目として6単位を履修する。「人間学総合教育科目」の科目区分からは、人間学Ⅰ、人間学Ⅱ(各2単位)を必須科目として履修するほか、「人間の理解」、「社会と生活」、「科学と生活」の各科目区分から最低1科目2単位以上を履修する。 上記の履修により、基盤教育科目から合計18単位を最低の修得単位数とする。</p> <p>【専門教育科目】 「専門基礎科目」科目区分より必修科目19単位及び選択必修科目を14単位の計33単位、「専門科目」科目区分より69単位を必修科目として履修する。専門教育科目から、合計102単位を最低の修得単位とする。上述の科目以外の選択科目より、計6単位以上の選択科目を履修する。 基盤教育科目と専門教育科目を合わせて合計126単位以上を修得することとする。 (履修科目の登録の上限 原則 22単位(1学期))</p>						1学年の学期区分		4期								
						1学期の授業期間		春学期(16週) 夏学期(8週) 秋学期(16週) 冬学期(8週)								
						1時限の授業時間		90分								

授 業 科 目 の 概 要			
（関西国際大学大学院看護学研究科）			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
共通科目	看護学研究方法論	<p>（概要） 看護実践を行う上での看護研究の意義を学び、看護上の課題発掘や看護実践の開発に向けた研究課題を明確にする視点を養う。また看護学研究の特殊性・倫理性を理解し、研究活動に必要な知識と高度な研究手法を習得する。以下の5つの学修目標の達成をめざした講義を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護研究の意義と研究プロセスを説明できる。</li> <li>2. 因子探索研究・関係探索研究・実験研究の研究デザインを説明できる。</li> <li>3. 調査方法を説明できる。</li> <li>4. 研究論文のクリティークが説明できる。</li> <li>5. 看護研究に必要な倫理的配慮を説明できる。</li> </ol> <p>（オムニバス方式／全15回）</p> <p>（2. 高見澤恵美子／8回）看護研究のプロセス・研究のエビデンスとEvidence-based practice (EBP)、研究デザイン、調査方法、サブストラクション、統計的研究論文のクリティーク、研究計画書作成の基本と研究に必要な倫理的配慮等、看護学研究のプロセス全般及び統計の手法を用いた研究を実施しその結果を活用するために必要な知識を講義する。</p> <p>（6. 中島登美子／5回）質的研究のプロセス、質的研究のクリティーク、質的研究の分析方法等、質的研究を実施しその結果を活用するために必要な内容を講義する。</p> <p>（17. 今野理恵／2回）国内外のデータベース検索を活用し、文献検索方法、文献リストの作成、システムティックレビューについて講義する。</p>	オムニバス方式
	心理学研究方法応用論(看護学的研究)	<p>（概要） 人間の看護行動を理解するために、基礎心理学・臨床心理学で用いられている手法について理解することを目的とする。質的研究法、量的研究法、さらに心理統計にもとづく実験計画法と因子分析、重回帰分析、共分散構造分析などの多変量解析法について、データ処理方法を習得する。臨床場面における研究においては、臨床実践や調査研究とプライバシーを含む倫理面の問題および研究から得られる公共性との両立と相克が重要なテーマとなる。この点について留意しながら、臨床心理学研究法について学修する。</p> <p>（オムニバス方式／全15回）</p> <p>（③ 坂中尚哉／7回）心理学的研究における事例研究法、投映法に基づく事例研究法、医療におけるナラティブ研究法、及び臨床心理学的研究における研究倫理等について講義する。</p> <p>（④ 堀尾強／8回）人間看護行動研究に関する心理学的研究の手法を用いたアプローチ、心理学的研究における質的研究方法と量的研究方法、心理統計法に基づく実験計画、及び分散分析、因子分析・共分散構造分析等心理学研究で主に用いられる多変量解析の手法について講義する。</p>	オムニバス方式
	看護学教育論	<p>（概要） 看護学教員を目指す者に必要な看護教育について、看護教育学の基本的知識を理解した上で、看護教育に根拠を以て対応するために必要な看護教育的知識、技術を学修する。看護学を発展させていくための理論、教授-学修方法(アクティブラーニング)、カリキュラム構築、教育のアウトカム評価等について理解し探求する。</p> <p>（オムニバス方式／全15回）</p> <p>（15. 岡田彩子／8回） 看護専門職の継続教育、継続教育の現状と課題、看護における生涯学修と変容学修理論、熟達化に関する理論、看護継続教育と生涯学習の観点からの文献検討とエビデンスの体系化について講義する。</p> <p>（16. グレグ美鈴／8回） 看護学におけるカリキュラム開発・評価、ディプロマ ポリシー・カリキュラム ポリシー・アドミッション ポリシー、教授と学修に関する理論、看護基礎教育に関する文献検討と体系化について講義する。</p>	オムニバス方式 集中

授 業 科 目 の 概 要			
（関西国際大学大学院看護学研究科）			
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
共通 科目	看護学教育演習	<p>（概要） 関西国際大学保健医療学部看護学科における講義・演習・実習を通して、大学院生の関心ある看護分野における基礎看護学教育を専任教員と共に実践する。関心ある分野の専任教員の指導のもと、講義または演習の授業案及び受講資料を作成し授業を実際に行う。授業終了後受講生のアンケート結果に基づいて自らの授業内容・方法を評価し、講義・演習の教育のあり方を検討する。さらに、関心ある分野の看護学実習に専任教員と共に参加し、実習における教育を理解し、実習教育のあり方を探求し、看護学教育研究者としての自らの抱負と課題を明確にする。</p> <p>（2. 高見澤恵美子）療養支援看護学分野における基礎看護学教育について、授業案及び受講資料を作成し授業を実際に行う。授業終了後受講生のアンケート結果に基づいて自らの授業内容・方法を評価し、講義・演習の教育のあり方を検討する。さらに療養支援看護学実習を指導し、看護学教育研究者としての自らの抱負と課題を検討する。</p> <p>（5. 遠藤俊子）母性看護学分野における基礎看護学教育について、授業案及び受講資料を作成し授業を実際に行う。授業終了後受講生のアンケート結果に基づいて自らの授業内容・方法を評価し、講義・演習の教育のあり方を検討する。さらに母性看護学実習を指導し、看護学教育研究者としての自らの抱負と課題を検討する。</p> <p>（6. 中島登美子）小児看護学分野における基礎看護学教育について、授業案及び受講資料を作成し授業を実際に行う。授業終了後受講生のアンケート結果に基づいて自らの授業内容・方法を評価し、講義・演習の教育のあり方を検討する。さらに小児看護学実習を指導し、看護学教育研究者としての自らの抱負と課題を検討する。</p> <p>（7. 松原まなみ）助産看護学分野における基礎看護学教育について、授業案及び受講資料を作成し授業を実際に行う。授業終了後受講生のアンケート結果に基づいて自らの授業内容・方法を評価し、講義・演習の教育のあり方を検討する。さらに助産看護学実習を指導し、看護学教育研究者としての自らの抱負と課題を検討する。</p> <p>（9. 沼本教子）老年看護学分野における基礎看護学教育について、授業案及び受講資料を作成し授業を実際に行う。授業終了後受講生のアンケート結果に基づいて自らの授業内容・方法を評価し、講義・演習の教育のあり方を検討する。さらに老年看護学分野を指導し、看護学教育研究者としての自らの抱負と課題を検討する。</p> <p>（②. 松田宣子）公衆衛生看護学分野における基礎看護学教育について、授業案及び受講資料を作成し授業を実際に行う。授業終了後受講生のアンケート結果に基づいて自らの授業内容・方法を評価し、講義・演習の教育のあり方を検討する。さらに公衆衛生看護学実習を指導し、看護学教育研究者としての自らの抱負と課題を検討する。</p>	

授 業 科 目 の 概 要			
（関西国際大学大学院看護学研究科）			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
専 門 科 目	療養支援看護学	<p>（概要） 療養生活の支援に必要な専門的看護援助・患者教育方法などの看護実践や患者教育について研究を論文のレビューに基づき、周手術期看護、クリティカルケア、がん看護の視点を重視した専門分野における課題を明確にし、専門分野における教育研究能力を培う。</p>	
	家族支援看護学	<p>（概要） 少子高齢化が進行する我が国において子どもを産み育てることを、就業、教育等の多様な立場から、女性と子どもならびに家族支援に必要な専門的看護援助・教育方法等の看護実践や健康教育について検討し、社会における保健医療システムのあり方も含め課題を明確にし、専門分野における教育研究能力を培う。</p> <p>（オムニバス方式／全15回）</p> <p>（5. 遠藤俊子／6回）女性の健康と家族に関する研究の動向、国内外の周産期医療の現状とあり方・助産看護システムのあり方等について講義する。</p> <p>（6. 中島登美子／10回）子どもと家族の発達に関する理論と研究の動向、母子関係における研究の特性、小児保健医療のあり方等について講義する。</p> <p>（7. 松原まなみ／5回）周産期の母子・家族に関する課題等について講義する。</p>	オムニバス方式
	生活支援看護学	<p>（概要） 高齢期を生きる人の生活の支援及び公衆衛生に必要な専門的看護援助に関連する研究論文のレビューを行い、高齢者の心理社会的発達への支援、認知症高齢者の看護、治療や療養の場におけるケアの倫理、在宅移行ケアにおける多職種連携、公衆衛生に関する健康指標及び健康への影響などの観点から研究課題を明確にし、専門分野における教育研究能力を培う。</p> <p>（オムニバス方式／全15回）</p> <p>（9. 沼本教子／10回）高齢期を生きることの理解と看護支援の必要性と課題、認知症高齢者の看護、治療や療養を必要とする高齢者への看護支援に関する課題を明確化、在宅移行ケアにおける他職種連携等を講義する。</p> <p>（②. 松田宣子／5回）公衆衛生に関する健康指標の健康への影響と保健師役割等を中心に講義する。</p>	オムニバス方式

授 業 科 目 の 概 要			
（関西国際大学大学院看護学研究科）			
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
特別 研究	特別研究 I	<p>（概要） 教育研究者として自律的に専門分野における課題を分析・解決するため、研究計画立案に関する応用能力を修得する。学生個々の専門分野において、文献レビュー等により研究状況を明らかにし、テーマの選択、研究意義、研究目的、概念枠組み、調査方法、分析方法を吟味し、研究デザインを明確にする。具体的には、以下の目標を達成するため個別研究指導を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自らの専門分野における課題を明確にできる。</li> <li>2. 研究の意義と研究目的を記述できる。</li> <li>3. 研究課題に関する文献検討を記述できる。</li> <li>4. 研究目的に適合する対象・調査内容・調査方法・分析方法を吟味し記述できる。</li> <li>5. 研究遂行に必要な倫理的配慮を計画できる。</li> </ol> <p>(1. 岡光京子) 頭頸部がん患者の放射線治療中の問題と対処、頭頸部がん患者の食に関する援助モデルの開発と評価、終末期がん患者の病の体験の意味づけ、終末期患者の希望を支える援助で生じる倫理的問題とその対処、化学療法を継続するがん患者のセルフケア等がん看護学などの療養支援看護学分野に関する研究について、履修生の関心に則して課題の明確化、研究意義と研究目的、文献検討、研究方法、研究計画に必要な倫理的配慮等について研究指導を行う。</p> <p>(2. 高見澤恵美子) 人工肛門造設患者のQOLと影響要因、冠動脈バイパス術を受けた患者のセルフケアモデルと関連要因、周手術期がん患者への術前オリエンテーションプログラムの作成と評価、心臓外科手術を受ける患者の意思決定に影響する要因等急性看護学などの療養支援看護学分野に関する研究について、履修生の関心に則して課題の明確化、研究意義と研究目的、文献検討、研究方法、研究計画に必要な倫理的配慮等について研究指導を行う。</p> <p>(3. 森一恵) 高齢がん患者と家族のための意思決定支援、乳がん患者の診断から初回治療終了までの配偶者の認識と対処行動、造血幹細胞移植を受ける患者の自己決定を支援するための看護介入などの療養支援看護学分野に関する研究について、履修生の関心に則して課題の明確化、研究意義と研究目的、文献検討、研究方法、研究計画に必要な倫理的配慮等について研究指導を行う。</p> <p>(① Walsh, K) グループまたは個人ベースのうつ状態への治療的介入、統合失調症に対する治療的介入、家庭内暴力、地域精神保健看護チームのニーズを満たすグループモデリングの開発、救急・産科病棟等におけるプラクティスディベロップメント、及びシステムティックレビュー・フォーカスグループインタビューなど療養支援看護学分野に関する研究と研究方法について、履修生の関心に則して課題の明確化、研究意義と研究目的、文献検討、研究方法、研究計画に必要な倫理的配慮等について研究指導を行う。</p> <p>(6. 遠藤俊子) 母親の育児体験と育児観、双胎児のいる母親の育児支援、産褥母子訪問指導、母親の子育ての体験の構成要素、出産満足度とマタニティーブルー、育児幸福感を高める支援プログラム等母性看護学などの家族支援看護学分野に関する研究について、履修生の関心に則して課題の明確化、研究意義と研究目的、文献検討、研究方法、研究計画に必要な倫理的配慮等について研究指導を行う。</p> <p>(7. 中島登美子) 子どもの成長発達、子どものQOL、入院児の遊び、苦痛を伴う処置や検査を受ける子どもへの看護師の説明と関わり、先天性健康障害をもつ子どもと家族への看護実践、子どものインフォームド・コンセント等小児看護学などの家族支援看護学分野に関する研究について、履修生の関心に則して課題の明確化、研究意義と研究目的、文献検討、研究方法、研究計画に必要な倫理的配慮等について研究指導を行う。</p> <p>(8. 松原まなみ) 低体重児の吸吸機能の発達、口蓋裂児の吸吸と治療チームの授乳援助、低体重児の母乳育児、初めて乳児を育てる母親の育児不安と家族機能などの家族支援看護学分野に関する研究について、履修生の関心に則して課題の明確化、研究意義と研究目的、文献検討、研究方法、研究計画に必要な倫理的配慮等について研究指導を行う。</p> <p>(10. 沼本教子) 老年看護学の概念枠組み、高齢者のライフヒトリー法による心理社会的発達、高齢者の健康アセスメントツールの活用と課題、老人虐待と看護専門職における教育等老年看護学、災害支援などの生活支援看護学分野における、調査方法、分析方法、博士論文作成等について研究指導を行う。</p> <p>(② 松田宣子) 痴呆性老人を抱える家族の介護負担とニーズ、慢性的な健康障害を持つ子どもの家族機能、保健師活動における保健師役割などの生活支援看護学分野における、調査方法、分析方法、博士論文作成等について研究指導を行う。</p> <p>(③ 坂中尚哉) 人間を対象とした研究における心理学的理解を深め、心理的側面への支援及び教育学的支援に関する研究について、履修生の関心に則して心理学的研究方法を活用し課題の明確化、研究意義と研究目的、文献検討、研究方法、研究計画に必要な倫理的配慮等について研究指導を行う。</p> <p>(④ 堀尾強) 人間を対象とした研究における人間行動学的理解を深め、食事療法及び嚥下に対する支援のあり方等人間の行動に関する研究について、履修生の関心に則して栄養科学及び人間行動学的研究方法を活用し、具体的な調査方法、分析方法、博士論文作成等について研究指導を行う。</p> <p>(⑤ 井上久美代) 女性の避妊の理解と体験、女性の経皮的避妊器具の使用体験と認識、女性の避妊中断理由、医師の実施している避妊コンサルテーション、ドメスティックバイオレンスの看護師の認識と看護師の活動等母性看護学などの家族支援看護学分野に関する研究について、履修生の関心に則して課題の明確化、研究意義と研究目的、文献検討、研究方法、研究計画に必要な倫理的配慮等について研究指導を行う。</p>	

授 業 科 目 の 概 要			
（関西国際大学大学院看護学研究科）			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
特別研究	特別研究Ⅱ	<p>（概要）</p> <p>「特別研究Ⅰ」において作成し看護学研究科委員会の承認を得た研究計画に基づき、調査を実施し収集したデータを分析し、結果をまとめ考察する一連のプロセスを実施し、教育研究者として自律的に研究実践を行う能力を養う。具体的には、以下の目標の達成を達成するため個別指導を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護学研究科委員会で承認された研究計画に従い、調査を実施できる。</li> <li>2. 調査から得られたデータを、研究目的にそって分析できる。</li> <li>3. 分析結果に基づき、研究目的に沿って考察できる。</li> <li>4. 研究成果を論文としてまとめ、プレゼンテーションできる。</li> </ol> <p>(1. 岡光京子) 頭頸部がん患者の放射線治療中の問題と対処、頭頸部がん患者の食に関する援助モデルの開発と評価、終末期がん患者の病の体験の意味づけ、終末期患者の希望を支える援助で生じる倫理的問題とその対処、化学療法を継続するがん患者のセルフケアなどの療養支援看護学分野における、調査方法、分析方法、博士論文作成等について研究指導を行う。</p> <p>(2. 高見澤恵美子) 人工肛門造設患者のQOLと影響要因、冠動脈バイパス術を受けた患者のセルフケアモデルと関連要因、周手術期がん患者への術前オリエンテーションプログラムの作成と評価、心臓外科手術を受ける患者の意思決定に影響する要因などの療養支援看護学分野における、調査方法、分析方法、博士論文作成等について研究指導を行う。</p> <p>(3. 森一恵) 高齢がん患者と家族のための意思決定支援、乳がん患者の診断から初回治療終了までの配偶者の認識と対処行動、造血幹細胞移植を受ける患者の自己決定を支援するための看護介入などの療養支援看護学分野における、調査方法、分析方法、博士論文作成等について研究指導を行う。</p> <p>(① Walsh, K) グループまたは個人ベースのうつ状態への治療的介入、統合失調症に対する治療的介入、家庭内暴力、地域精神保健看護チームのニーズを満たすグループモデリングの開発、救急・産科病棟等におけるプラクティスディベロップメント、及びシステマティックレビュー・フォーカスグループインタビューなど療養支援看護学分野における調査方法、分析方法、博士論文作成等について研究指導を行う。</p> <p>(6. 遠藤俊子) 母親の育児体験と育児観、双胎児のいる母親の育児支援、産褥母子訪問指導、母親の子育ての体験の構成要素、出産満足度とマタニティブルー、育児幸福感を高める支援プログラムなどの家族支援看護学分野における、調査方法、分析方法、博士論文作成等について研究指導を行う。</p> <p>(7. 中島登美子) 子どもの成長発達、子どものQOL、入院児の遊び、苦痛を伴う処置や検査を受ける子どもへの看護師の説明と関わり、先天性健康障害をもつ子どもと家族への看護実践、子どものインフォームド・コンセントなどの家族支援看護学分野における、調査方法、分析方法、博士論文作成等について研究指導を行う。</p> <p>(8. 松原まなみ) 低体重児の吸吸機能の発達、口蓋裂児の吸吸と治療チームの授乳援助、低体重児の母乳育児、初めて乳児を育てる母親の育児不安と家族機能などの家族支援看護学分野における、調査方法、分析方法、博士論文作成等について研究指導を行う。</p> <p>(10. 沼本教子) 老年看護学の概念枠組み、高齢者のライフヒトリー法による心理社会的発達、高齢者の健康アセスメントツールの活用と課題、老人虐待と看護専門職における教育などの生活支援看護学分野における、調査方法、分析方法、博士論文作成等について研究指導を行う。</p> <p>(② 松田宣子) 痴呆性老人を抱える家族の介護負担とニーズ、慢性的な健康障害を持つ子どもの家族機能、保健師活動における保健師役割などの生活支援看護学分野における、調査方法、分析方法、博士論文作成等について研究指導を行う。</p> <p>(③ 坂中尚哉) 人間を対象とした研究における心理学的理解を深め、心理的側面への支援及び教育学的支援に関する研究について、履修生の関心に則して心理学的研究方法を活用し、具体的な調査方法、分析方法、博士論文作成等について研究指導を行う。</p> <p>(④ 堀尾強) 人間を対象とした研究における人間行動学的理解を深め、食事療法及び嚥下に対する支援のあり方等人間の行動に関する研究について、履修生の関心に則して栄養科学及び人間行動学的研究方法を活用し、具体的な調査方法、分析方法、博士論文作成等について研究指導を行う。</p> <p>(⑤ 井上久美代) 女性の避妊の理解と体験、女性の経皮的避妊器具の使用体験と認識、女性の避妊中絶理由、医師の実施している避妊コンサルテーション、ドメスティックバイオレンスの看護師の認識と看護師の活動等ウィメンズヘルスなどの療養支援看護学分野における、調査方法、分析方法、博士論文作成等について研究指導を行う。</p>	

授 業 科 目 の 概 要			
（関西国際大学大学院看護学研究科）			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
共通科目	看護学研究方法論	<p>（概要） 看護実践を行う上での看護研究の意義を学び、看護上の課題発掘や看護実践の開発に向けた研究課題を明確にする視点を養う。また看護学研究の特殊性・倫理性を理解し、研究活動に必要な知識と高度な研究手法を習得する。以下の5つの学修目標の達成をめざした講義を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護研究の意義と研究プロセスを説明できる。</li> <li>2. 因子探索研究・関係探索研究・実験研究の研究デザインを説明できる。</li> <li>3. 調査方法を説明できる。</li> <li>4. 研究論文のクリティークが説明できる。</li> <li>5. 看護研究に必要な倫理的配慮を説明できる。</li> </ol> <p>（オムニバス方式／全15回）</p> <p>（2. 高見澤恵美子／8回）看護研究のプロセス・研究のエビデンスとEvidence-based practice (EBP)、研究デザイン、調査方法、サブストラクション、統計的研究論文のクリティーク、研究計画書作成の基本と研究に必要な倫理的配慮等、看護学研究のプロセス全般及び統計の手法を用いた研究を実施しその結果を活用するために必要な知識を講義する。</p> <p>（6. 中島登美子／5回）質的研究のプロセス、質的研究のクリティーク、質的研究の分析方法等、質的研究を実施しその結果を活用するために必要な内容を講義する。</p> <p>（17. 今野理恵／2回）国内外のデータベース検索を活用し、文献検索方法、文献リストの作成、システムティックレビューについて講義する。</p>	オムニバス方式
	心理学研究方法応用論(看護学的研究)	<p>（概要） 人間の看護行動を理解するために、基礎心理学・臨床心理学で用いられている手法について理解することを目的とする。質的研究法、量的研究法、さらに心理統計にもとづく実験計画法と因子分析、重回帰分析、共分散構造分析などの多変量解析法について、データ処理方法を習得する。臨床場面における研究においては、臨床実践や調査研究とプライバシーを含む倫理面の問題および研究から得られる公共性との両立と相克が重要なテーマとなる。この点について留意しながら、臨床心理学研究法について学修する。</p> <p>（オムニバス方式／全15回）</p> <p>（③ 坂中尚哉／7回）心理学的研究における事例研究法、投映法に基づく事例研究法、医療におけるナラティブ研究法、及び臨床心理学的研究における研究倫理等について講義する。</p> <p>（④ 堀尾強／8回）人間看護行動研究に関する心理学的研究の手法を用いたアプローチ、心理学的研究における質的研究方法と量的研究方法、心理統計法に基づく実験計画、及び分散分析、因子分析・共分散構造分析等心理学研究で主に用いられる多変量解析の手法について講義する。</p>	オムニバス方式
	看護学教育論	<p>（概要） 看護学教員を目指す者に必要な看護教育について、看護教育学の基本的知識を理解した上で、看護教育に根拠を以て対応するために必要な看護教育的知識、技術を学修する。看護学を発展させていくための理論、教授-学修方法(アクティブラーニング)、カリキュラム構築、教育のアウトカム評価等について理解し探求する。</p> <p>（オムニバス方式／全15回）</p> <p>（15. 岡田彩子／8回） 看護専門職の継続教育、継続教育の現状と課題、看護における生涯学修と変容学修理論、熟達化に関する理論、看護継続教育と生涯学習の観点からの文献検討とエビデンスの体系化について講義する。</p> <p>（16. グレグ美鈴／8回） 看護学におけるカリキュラム開発・評価、ディプロマ ポリシー・カリキュラム ポリシー・アドミッション ポリシー、教授と学修に関する理論、看護基礎教育に関する文献検討と体系化について講義する。</p>	オムニバス方式 集中

授 業 科 目 の 概 要			
（関西国際大学大学院看護学研究科）			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
共通科目	看護学教育演習	<p>（概要）            関西国際大学保健医療学部看護学科における講義・演習・実習を通して、大学院生の関心ある看護分野における基礎看護学教育を専任教員と共に実践する。関心ある分野の専任教員の指導のもと、講義または演習の授業案及び受講資料を作成し授業を実際に行う。授業終了後受講生のアンケート結果に基づいて自らの授業内容・方法を評価し、講義・演習の教育のあり方を検討する。さらに、関心ある分野の看護学実習に専任教員と共に参加し、実習における教育を理解し、実習教育のあり方を探求し、看護学教育研究者としての自らの抱負と課題を明確にする。</p> <p>（2. 高見澤恵美子）療養支援看護学分野における基礎看護学教育について、授業案及び受講資料を作成し授業を実際に行う。授業終了後受講生のアンケート結果に基づいて自らの授業内容・方法を評価し、講義・演習の教育のあり方を検討する。さらに療養支援看護学実習を指導し、看護学教育研究者としての自らの抱負と課題を検討する。</p> <p>（5. 遠藤俊子）母性看護学分野における基礎看護学教育について、授業案及び受講資料を作成し授業を実際に行う。授業終了後受講生のアンケート結果に基づいて自らの授業内容・方法を評価し、講義・演習の教育のあり方を検討する。さらに母性看護学実習を指導し、看護学教育研究者としての自らの抱負と課題を検討する。</p> <p>（6. 中島登美子）小児看護学分野における基礎看護学教育について、授業案及び受講資料を作成し授業を実際に行う。授業終了後受講生のアンケート結果に基づいて自らの授業内容・方法を評価し、講義・演習の教育のあり方を検討する。さらに小児看護学実習を指導し、看護学教育研究者としての自らの抱負と課題を検討する。</p> <p>（7. 松原まなみ）助産看護学分野における基礎看護学教育について、授業案及び受講資料を作成し授業を実際に行う。授業終了後受講生のアンケート結果に基づいて自らの授業内容・方法を評価し、講義・演習の教育のあり方を検討する。さらに助産看護学実習を指導し、看護学教育研究者としての自らの抱負と課題を検討する。</p> <p>（9. 沼本教子）老年看護学分野における基礎看護学教育について、授業案及び受講資料を作成し授業を実際に行う。授業終了後受講生のアンケート結果に基づいて自らの授業内容・方法を評価し、講義・演習の教育のあり方を検討する。さらに老年看護学分野を指導し、看護学教育研究者としての自らの抱負と課題を検討する。</p> <p>（②. 松田宣子）公衆衛生看護学分野における基礎看護学教育について、授業案及び受講資料を作成し授業を実際に行う。授業終了後受講生のアンケート結果に基づいて自らの授業内容・方法を評価し、講義・演習の教育のあり方を検討する。さらに公衆衛生看護学実習を指導し、看護学教育研究者としての自らの抱負と課題を検討する。</p>	



授 業 科 目 の 概 要			
（関西国際大学大学院看護学研究科）			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
専 門 科 目	療養支援看護学	<p>（概要） 療養生活の支援に必要な専門的看護援助・患者教育方法などの看護実践や患者教育について研究を論文のレビューに基づき、周手術期看護、クリティカルケア、がん看護の視点を重視した専門分野における課題を明確にし、専門分野における教育研究能力を培う。</p>	
	家族支援看護学	<p>（概要） 少子高齢化が進行する我が国において子どもを産み育てることを、就業、教育等の多様な立場から、女性と子どもならびに家族支援に必要な専門的看護援助・教育方法等の看護実践や健康教育について検討し、社会における保健医療システムのあり方も含め課題を明確にし、専門分野における教育研究能力を培う。</p> <p>（オムニバス方式／全15回）</p> <p>（5. 遠藤俊子／6回）女性の健康と家族に関する研究の動向、国内外の周産期医療の現状とあり方・助産看護システムのあり方等について講義する。</p> <p>（6. 中島登美子／10回）子どもと家族の発達に関する理論と研究の動向、母子関係における研究の特性、小児保健医療のあり方等について講義する。</p> <p>（7. 松原まなみ／5回）周産期の母子・家族に関する課題等について講義する。</p>	オムニバス方式
	生活支援看護学	<p>（概要） 高齢期を生きる人の生活の支援及び公衆衛生に必要な専門的看護援助に関連する研究論文のレビューを行い、高齢者の心理社会的発達への支援、認知症高齢者の看護、治療や療養の場におけるケアの倫理、在宅移行ケアにおける多職種連携、公衆衛生に関する健康指標及び健康への影響などの観点から研究課題を明確にし、専門分野における教育研究能力を培う。</p> <p>（オムニバス方式／全15回）</p> <p>（9. 沼本教子／10回）高齢期を生きることの理解と看護支援の必要性と課題、認知症高齢者の看護、治療や療養を必要とする高齢者への看護支援に関する課題を明確化、在宅移行ケアにおける他職種連携等を講義する。</p> <p>（②. 松田宣子／5回）公衆衛生に関する健康指標の健康への影響と保健師役割等を中心に講義する。</p>	オムニバス方式

授 業 科 目 の 概 要			
（関西国際大学大学院看護学研究科）			
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
特別 研究	特別研究Ⅰ	<p>（概要） 教育研究者として自律的に専門分野における課題を分析・解決するため、研究計画立案に関する応用能力を修得する。学生個々の専門分野において、文献レビュー等により研究状況を明らかにし、テーマの選択、研究意義、研究目的、概念枠組み、調査方法、分析方法を吟味し、研究デザインを明確にする。具体的には、以下の目標を達成するため個別研究指導を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自らの専門分野における課題を明確にできる。</li> <li>2. 研究の意義と研究目的を記述できる。</li> <li>3. 研究課題に関する文献検討を記述できる。</li> <li>4. 研究目的に適合する対象・調査内容・調査方法・分析方法を吟味し記述できる。</li> <li>5. 研究遂行に必要な倫理的配慮を計画できる。</li> </ol> <p>(1. 岡光京子) 頭頸部がん患者の放射線治療中の問題と対処、頭頸部がん患者の食に関する援助モデルの開発と評価、終末期がん患者の病の体験の意味づけ、終末期患者の希望を支える援助で生じる倫理的問題とその対処、化学療法を継続するがん患者のセルフケア等がん看護学などの療養支援看護学分野に関する研究について、履修生の関心に則して課題の明確化、研究意義と研究目的、文献検討、研究方法、研究計画に必要な倫理的配慮等について研究指導を行う。</p> <p>(2. 高見澤恵美子) 人工肛門造設患者のQOLと影響要因、冠動脈バイパス術を受けた患者のセルフケアモデルと関連要因、周手術期がん患者への術前オリエンテーションプログラムの作成と評価、心臓外科手術を受ける患者の意思決定に影響する要因等急性看護学などの療養支援看護学分野に関する研究について、履修生の関心に則して課題の明確化、研究意義と研究目的、文献検討、研究方法、研究計画に必要な倫理的配慮等について研究指導を行う。</p> <p>(3. 森一恵) 高齢がん患者と家族のための意思決定支援、乳がん患者の診断から初回治療終了までの配偶者の認識と対処行動、造血幹細胞移植を受ける患者の自己決定を支援するための看護介入などの療養支援看護学分野に関する研究について、履修生の関心に則して課題の明確化、研究意義と研究目的、文献検討、研究方法、研究計画に必要な倫理的配慮等について研究指導を行う。</p> <p>(① Walsh, K) グループまたは個人ベースのうつ状態への治療的介入、統合失調症に対する治療的介入、家庭内暴力、地域精神保健看護チームのニーズを満たすグループモデリングの開発、救急・産科病棟等におけるプラクティスディベロップメント、及びシステマティックレビュー・フォーカスグループインタビューなど療養支援看護学分野に関する研究と研究方法について、履修生の関心に則して課題の明確化、研究意義と研究目的、文献検討、研究方法、研究計画に必要な倫理的配慮等について研究指導を行う。</p> <p>(6. 遠藤俊子) 母親の育児体験と育児観、双胎児のいる母親の育児支援、産褥母子訪問指導、母親の子育ての体験の構成要素、出産満足度とマタニティーブルー、育児幸福感を高める支援プログラム等母性看護学などの家族支援看護学分野に関する研究について、履修生の関心に則して課題の明確化、研究意義と研究目的、文献検討、研究方法、研究計画に必要な倫理的配慮等について研究指導を行う。</p> <p>(7. 中島登美子) 子どもの成長発達、子どものQOL、入院児の遊び、苦痛を伴う処置や検査を受ける子どもへの看護師の説明と関わり、先天性健康障害をもつ子どもと家族への看護実践、子どものインフォームド・コンセント等小児看護学などの家族支援看護学分野に関する研究について、履修生の関心に則して課題の明確化、研究意義と研究目的、文献検討、研究方法、研究計画に必要な倫理的配慮等について研究指導を行う。</p> <p>(8. 松原まなみ) 低体重児の吸吸機能の発達、口蓋裂児の吸吸と治療チームの授乳援助、低体重児の母乳育児、初めて乳児を育てる母親の育児不安と家族機能などの家族支援看護学分野に関する研究について、履修生の関心に則して課題の明確化、研究意義と研究目的、文献検討、研究方法、研究計画に必要な倫理的配慮等について研究指導を行う。</p> <p>(10. 沼本教子) 老年看護学の概念枠組み、高齢者のライフヒトリー法による心理社会的発達、高齢者の健康アセスメントツールの活用と課題、老人虐待と看護専門職における教育等老年看護学、災害支援などの生活支援看護学分野における、調査方法、分析方法、博士論文作成等について研究指導を行う。</p> <p>(② 松田宣子) 痴呆性老人を抱える家族の介護負担とニーズ、慢性的な健康障害を持つ子どもの家族機能、保健師活動における保健師役割などの生活支援看護学分野における、調査方法、分析方法、博士論文作成等について研究指導を行う。</p> <p>(③ 坂中尚哉) 人間を対象とした研究における心理学的理解を深め、心理的側面への支援及び教育学的支援に関する研究について、履修生の関心に則して心理学的研究方法を活用し課題の明確化、研究意義と研究目的、文献検討、研究方法、研究計画に必要な倫理的配慮等について研究指導を行う。</p> <p>(④ 堀尾強) 人間を対象とした研究における人間行動学的理解を深め、食事療法及び嚥下に対する支援のあり方等人間の行動に関する研究について、履修生の関心に則して栄養科学及び人間行動学的研究方法を活用し、具体的な調査方法、分析方法、博士論文作成等について研究指導を行う。</p> <p>(⑤ 井上久美代) 女性の避妊の理解と体験、女性の経皮的避妊器具の使用体験と認識、女性の避妊中断理由、医師の実施している避妊コンサルテーション、ドメスティックバイオレンスの看護師の認識と看護師の活動等母性看護学などの家族支援看護学に関する研究について、履修生の関心に則して課題の明確化、研究意義と研究目的、文献検討、研究方法、研究計画に必要な倫理的配慮等について研究指導を行う。</p>	

授 業 科 目 の 概 要			
（関西国際大学大学院看護学研究科）			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
特別研究	特別研究Ⅱ	<p>（概要）</p> <p>「特別研究Ⅰ」において作成し看護学研究科委員会の承認を得た研究計画に基づき、調査を実施し収集したデータを分析し、結果をまとめ考察する一連のプロセスを実施し、教育研究者として自律的に研究実践を行う能力を養う。具体的には、以下の目標の達成を達成するため個別指導を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護学研究科委員会で承認された研究計画に従い、調査を実施できる。</li> <li>2. 調査から得られたデータを、研究目的にそって分析できる。</li> <li>3. 分析結果に基づき、研究目的に沿って考察できる。</li> <li>4. 研究成果を論文としてまとめ、プレゼンテーションできる。</li> </ol> <p>(1. 岡光京子) 頭頸部がん患者の放射線治療中の問題と対処、頭頸部がん患者の食に関する援助モデルの開発と評価、終末期がん患者の病の体験の意味づけ、終末期患者の希望を支える援助で生じる倫理的問題とその対処、化学療法を継続するがん患者のセルフケアなどの療養支援看護学分野における、調査方法、分析方法、博士論文作成等について研究指導を行う。</p> <p>(2. 高見澤恵美子) 人工肛門造設患者のQOLと影響要因、冠動脈バイパス術を受けた患者のセルフケアモデルと関連要因、周手術期がん患者への術前オリエンテーションプログラムの作成と評価、心臓外科手術を受ける患者の意思決定に影響する要因などの療養支援看護学分野における、調査方法、分析方法、博士論文作成等について研究指導を行う。</p> <p>(3. 森一恵) 高齢がん患者と家族のための意思決定支援、乳がん患者の診断から初回治療終了までの配偶者の認識と対処行動、造血幹細胞移植を受ける患者の自己決定を支援するための看護介入などの療養支援看護学分野における、調査方法、分析方法、博士論文作成等について研究指導を行う。</p> <p>(① Walsh, K) グループまたは個人ベースのうつ状態への治療的介入、統合失調症に対する治療的介入、家庭内暴力、地域精神保健看護チームのニーズを満たすグループモデリングの開発、救急・産科病棟等におけるプラクティスディベロップメント、及びシステマティックレビュー・フォーカスグループインタビューなど療養支援看護学分野における調査方法、分析方法、博士論文作成等について研究指導を行う。</p> <p>(6. 遠藤俊子) 母親の育児体験と育児観、双胎児のいる母親の育児支援、産褥母子訪問指導、母親の子育ての体験の構成要素、出産満足度とマタニティブルー、育児幸福感を高める支援プログラムなどの家族支援看護学分野における、調査方法、分析方法、博士論文作成等について研究指導を行う。</p> <p>(7. 中島登美子) 子どもの成長発達、子どものQOL、入院児の遊び、苦痛を伴う処置や検査を受ける子どもへの看護師の説明と関わり、先天性健康障害をもつ子どもと家族への看護実践、子どものインフォームド・コンセントなどの家族支援看護学分野における、調査方法、分析方法、博士論文作成等について研究指導を行う。</p> <p>(8. 松原まなみ) 低体重児の吸啜機能の発達、口蓋裂児の吸啜と治療チームの授乳援助、低体重児の母乳育児、初めて乳児を育てる母親の育児不安と家族機能などの家族支援看護学分野における、調査方法、分析方法、博士論文作成等について研究指導を行う。</p> <p>(10. 沼本教子) 老年看護学の概念枠組み、高齢者のライフヒトリー法による心理社会的発達、高齢者の健康アセスメントツールの活用と課題、老人虐待と看護専門職における教育などの生活支援看護学分野における、調査方法、分析方法、博士論文作成等について研究指導を行う。</p> <p>(② 松田宣子) 痴呆性老人を抱える家族の介護負担とニーズ、慢性的な健康障害を持つ子どもの家族機能、保健師活動における保健師役割などの生活支援看護学分野における、調査方法、分析方法、博士論文作成等について研究指導を行う。</p> <p>(③ 坂中尚哉) 人間を対象とした研究における心理学的理解を深め、心理的側面への支援及び教育学的支援に関する研究について、履修生の関心に則して心理学的研究方法を活用し、具体的な調査方法、分析方法、博士論文作成等について研究指導を行う。</p> <p>(④ 堀尾強) 人間を対象とした研究における人間行動学的理解を深め、食事療法及び嚥下に対する支援のあり方等人間の行動に関する研究について、履修生の関心に則して栄養科学及び人間行動学的研究方法を活用し、具体的な調査方法、分析方法、博士論文作成等について研究指導を行う。</p> <p>(⑤ 井上久美代) 女性の避妊の理解と体験、女性の経皮的避妊器具の使用体験と認識、女性の避妊中絶理由、医師の実施している避妊コンサルテーション、ドメスティックバイオレンスの看護師の認識と看護師の活動等ウィメンズヘルスなどの療養支援看護学分野における、調査方法、分析方法、博士論文作成等について研究指導を行う。</p>	

学校法人濱名学院 設置認可等に関わる組織の移行表

平成31年度		入学 定員	編入学 定員	収容 定員	令和2年度		入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
関西国際大学					関西国際大学					
人間科学部	人間心理学科	125	-	500	人間科学部	人間心理学科	125	-	500	
経営学部	経営学科	100	3年次 20	440	経営学部	経営学科	100	3年次 20	440	
教育学部	教育福祉学科	150	-	600	教育学部	教育福祉学科	150	-	600	
国際コミュニケーション学部	英語コミュニケーション学科	50	-	200	国際コミュニケーション学部	英語コミュニケーション学科	50	-	200	
保健医療学部	看護学科	80	-	320	保健医療学部	看護学科	<u>100</u>	-	<u>400</u>	定員変更(20) (認可申請)
計		505	20	2,060	現代社会学部	総合社会学科	<u>80</u>	3年次 <u>10</u>	<u>340</u>	設置者変更 定員変更 入学定員(80) 編入学定員(10) (認可申請)
						観光文化学科	<u>120</u>	-	<u>480</u>	設置者変更 定員変更 入学定員(120) (認可申請)
					計		<u>725</u>	3年次 <u>30</u>	<u>2,960</u>	
関西国際大学大学院					関西国際大学大学院					
人間行動学研究科人間行動学専攻(M)		8	-	16	人間行動学研究科人間行動学専攻(M)		8	-	16	
人間行動学研究科臨床教育学専攻(M)		8	-	16	人間行動学研究科臨床教育学専攻(M)		8	-	16	
看護学研究科看護学専攻(M)		6	-	12	看護学研究科看護学専攻(M)		6	-	12	
計		22		44	看護学研究科看護学専攻(D)		<u>2</u>	-	<u>6</u>	課程変更 (認可申請)
					計		<u>24</u>		<u>50</u>	
関西保育福祉専門学校					関西保育福祉専門学校					
保育専門課程保育科		140	-	280	保育専門課程保育科		<u>100</u>	-	<u>200</u>	定員変更 (△20)
福祉専門課程介護福祉科		40	-	80	福祉専門課程介護福祉科		40	-	80	
計		180	-	360	計		<u>140</u>		<u>280</u>	